

栗林公園新物産販売棟の概要

1. 整備の目的

香川県の代表的観光地である栗林公園の東門横に、来園者をはじめ県内外の一般客も気軽に利用することができる物産販売棟を新たに整備し、土産物販売はもとより、香川県の魅力的な農林水産品やその加工品をはじめ、伝統的工芸品などの様々な地場産品を幅広く展示・販売し、栗林公園への来園者に限らず多くの県民や観光客等に親しんでもらい、県内市場での流通・消費拡大を図るとともに、県内外への情報発信拠点として機能することにより、栗林公園の活性化と県産品の販路拡大を図り、農林水産業から商工・サービス業にわたる幅広い経済波及効果を生み出し、地域経済の活性化に寄与します。

2. コンセプト

～「香川のうまいもん・ええもん」の販売・情報発信拠点・アンテナショップ～

3. 施設の役割・機能

店舗コンセプトである“「香川のうまいもん・ええもん」の販売・情報発信拠点・アンテナショップ”として、次の機能を拡充させます。

(1) 香川の魅力ある県産品の展示・販売

土産物として定番の菓子類や讃岐うどん、オリーブ製品、伝統的工芸品等の特産品に加え、旬の野菜・果物等の第一次産業産品をはじめ、農林水産加工品など幅広い県産品を取り揃えることで、県内外からの来客への情報発信と購買機会の拡大を図ります。

(2) 新商品等のアンテナショップ

地域の隠れた魅力ある商品をはじめ、県内事業者等の地域資源を活用した新商品や、かがわ県産品コンクール受賞商品など、新たに発掘・開発された商品等を積極的に展示・販売することにより、消費者ニーズに基づく商品開発や販路拡大の支援を図ります。

(3) 各種のイベントや実演等の実施

当該施設への誘客や消費者への県産品の浸透、ファンづくりなどを目的として、年間を通し、試食販売などの各種イベントや実演等を開催します。また、県産の素材を使った飲物・軽食メニューを提供するとともに、物産売場と連動して購入品を店内で飲食できるスペースも確保します。

4. 建築施設計画

(1) 整備場所

「特別名勝・栗林公園」東門横（高松市栗林町1丁目20番16号）

(2) 建物の構造・規模等

特別名勝・栗林公園の景観に調和した施設とするため、建築物の構造、規模、外部仕上げについては、次の仕様とします。

構造	木造・平屋建て
延べ床面積	406 m ²
外部仕上げ	屋根：瓦葺・一部金属屋根 外壁：漆喰調仕上げ 建具：木製建具等

(3) 施設内レイアウト

施設のレイアウトは、施設の役割・機能に基づき、次の用途別にフロアを配置します。

フロア区分	面積	主な内容
展示・販売スペース （玄関ホール含む）	約 230 m ²	「旬の県産品・新商品コーナー」、「特産品・土産品コーナー」、「冷蔵・冷凍食品コーナー」、「ドリンク・スイーツコーナー」、「生鮮品コーナー」、「地酒コーナー」、「工芸品コーナー」等にゾーニングし、旬の生鮮食品や農林水産加工品、伝統的工芸品等の特産品に加え、農商工連携等による新規開発商品、県産品コンクール入選商品など、幅広い県産品の情報発信、展示・販売を行います。 また、県内のイベント、観光情報等の提供を行います。
イベントスペース	約 60 m ²	旬の県産品の試食販売やPRイベントなどを開催します（試食イベント等に対応するため、簡易厨房等を設置）。
事務室	約 60 m ²	流通業者等に県産品を売り込み、販路拡大につなげるための商談コーナーを設置します。
その他	約 50 m ²	倉庫、観光バス添乗員等休憩室 ほか

(4) 店舗内デザイン

①デザインコンセプト

～香川をつつむ～

「香川（讃岐）のうまいもん・ええもんを、お接待の精神で『つつんで』おもてなしをする」

②デザインの主な特徴

- 商品をつつむデザインとして、什器に、「フレームワゴン」（商品陳列可動棚）を採用します。可動式のため自由なレイアウトが可能であるとともに、定期的な商品の入れ替えやイベント等に対応でき、売場の新鮮さを保ちます。
- 建物正面の公園内通路に面した位置に、ウィンドウディスプレイを広く設け、新商品や旬のお勧め商品、売れ筋商品を展示し、店内に誘導するようにします。
- 内装は、床面はナチュラルな色合いのフローリングを使用し、暖かさを創出するとともに、壁はしっくい風のシンプルな白で統一します。